

令和元年度第3回美術館セミナー

- 1 日 時 令和2年2月22日（土）午前の部 10：00～12：30
午後の部 13：30～16：00
- 2 場 所 茨城県近代美術館 講座室
- 3 参加者 午前の部11名，午後の部9名 計20名（申込み50名）
県内の小学校・中学校・高等学校の教員
- 4 講 師 大西 未徳 氏（漆芸家）
- 5 内 容 実技講座「沈金でお箸を作ろう」

今回のセミナーは、体験することがなかなか難しい「沈金」を取り上げました。中学校の美術科では「デザイン・工芸」の分野があり、鑑賞の領域で漆工芸品（沈金の技法）を取り上げています。

大西氏は、仕上げまでの工程一つ一つを自身の作品を見せながら丁寧に説明してくださいました。現在、日本で使われている漆の95%は中国のものであること、残りの5%のうち、漆生産1位が岩手県，2位が茨城県（大子町）であること等の説明があり、とても興味深い話でした。参加者からは、「沈金の体験ができて嬉しかった」「伝統工芸のすばらしさを子どもたちに伝えていきたい」などの感想が寄せられました。

講座の様子



講師の作品



漆塗りの説明時に使用

